

新潟県女性センター情報 No.78

2010. 3. 8発行

講座レポート①

★「チーム力を10倍に高める！」

自律型組織マネジメントセミナー（1月16、17日実施）

自律型組織マネジメントセミナーは講師に組織コンサルタントの堀公俊さんを迎えて開催しました。参加者は24人。中小企業診断士、民間企業、行政など様々な業種からの参加があり、とても活発な意見交換、学びの場となりました。「自律型組織マネジメント」というと、とても堅い印象で、どんな事を具体的にやるのだろうか？と思って参加しましたが、講師の堀さんがとても分かりやすく具体例を沢山盛り込みながら話してくださいました。

組織は数年すると必ず生活習慣病（仕事の形骸化、硬直化）にかかるそうです。初めに参加者が所属組織での生活習慣病チェックをした後、どうすればそれを打破して活性化できるのかを学びました。組織内で「参加→納得→決意→行動→承認」のサイクルを作ることによって活性化できるということです。そのサイクルを促すために必要なのが組織での「対話」です。対話の軸となるのがファシリテーターで、今回は数多くのグループワークを通じて参加者全員がファシリテーター役を経験しながら「対話方法」を学びました。グループワークでは議論方法も毎回指定されたので、より難しく感じました。今回体験した議論方法は①問題解決型アプローチ（組織の問題を発見し、意見の発散、終結を通じて解決策に導く）②ポジティブアプローチ（組織の理想像を明確化させ、理想に近づくために今できる事を考案する）です。これらの話し合いのスキルは家族内でも大いに活用できるそうです。グループワークの後、必ずグループ毎に振り返りの時間を設け、それぞれの役割が適切であったかを話し合ったので、とても効果的でした。

また、堀さんが話されていた組織の中の個人が「自分が楽しむ」→「そこに集まった人を楽しませる」→「お客さんが集まる、お客さんを楽しませる」→「収益が上がる」という相乗効果についても印象的でした。まずは自分が楽しむ。自分の置かれている立場でいかに与えられた役割を楽しむかが大切である。今日から「自分の役割を楽しむ」よう実践していきたいと思います。（新潟県女性財団企画運営委員 櫻井友子）



講座レポート②

★「トラブル解決力アップセミナー」（2月10、11日実施）

昨年に引き続き『人と組織を強くする交渉力・コンフリクト・マネジメントの実践トレーニング』など、協調的交渉術の著書を執筆している鈴木有香さんを講師にお招きし、2日間にわたって「トラブル解決力アップセミナー」を開催しました。

1日目のビジネス編「問題解決力を磨く！」では、対立とは何かという基礎知識を習得し、効果的な注意の仕方や怒りとクレーム処理初期対応を学びました。

2日目は組織・家庭編で、「もつれた人間関係をスッキリ！！」と題して、コミュニケーションと感情の関係を体系的に学びました。意見の対立を乗り越えていくため、協調的な問題解決スキルを講義やワークを通して、参加者同士のコミュニケーション力を大いに活性化しました。最初に行った、集団と文化を考える「バルーン文化を探れ！」のワークでは、事前に設定された文化のルールの中で、バルーンバ人と調査団の2チームに分かれ、役になりきってコミュニケーションを図り、頭だけではなく心と身体を使う実験的体験で盛り上がりました。コンフリクト事例分析のワークや、協調的交渉の仕方、個人の思い込みからの推測によるトラブル等の講義は、組織や家庭ですぐに活かせるような内容で、鈴木さんのパワフルで軽快な話術と魅力あふれるキャラに引き込まれた6時間でした。また、マイナスイメージのコンフリクトですが、悪いことばかりではなく、自己や他者への気づきを高め、個人的な成長や心理的な発達を促し、組織のメンバーが問題に気づいて対処できるなどの肯定的側面もあります。違った角度から物事や関係を見ることを楽しむことも大切なのだと知り、「なるほど！どんな関係のどのような場面でも次へつながるステップになるのだ。」と思いました。今回のセミナーは、参加された皆さんが最後まで熱心に講義に耳を傾け、ワークを主体的に楽しみながら行う姿が印象的でした。（新潟県女性財団企画運営委員 小熊多津子）

定期講演会

現在の介護は、老々介護・シングル介護というように社会の変化に伴い形態も様変わりしてきています。また、介護は大変、つらいものと思われています。少しでも楽に介護ができるようにと思い、「介護講談」を企画しました。担当者からのレポートです。



2月25日に講師の田辺鶴瑛さんをお迎えし、「ほっとけ心のアップル介護」と題した講演会を行いました。当初、参加者が少ないのではと心配しましたが、120人という大勢の皆さんからご参加いただきました。そして何よりも、現在介護されておられる方達、中には、現在、妻の介護真っ只中の80代の男性もいらっしゃいました。また、夫婦揃っての参加も多く、主催者側として嬉しかったです。

講師という職業柄、釈台に張り扇を使い、初めは古典の講談のさわりの一節から…、とその内、ベンベンベンの音を立て会場内の机を叩きながら駆け巡られ、あっという間に皆さんは話の中に引き込まれていました。ご自身の実母の介護、夫の両親の介護等の経験・体験等を講談というわかり易い手法でお話していただきました。また、参加された皆さんが大声で笑ったり、現在介護されている義父との生活を紹介するDVDを見て自分の立場と置き換え目頭をおさえられるなど、笑いと涙の2時間でした。

参加された皆さんからは、「介護に対して介護する人が我慢しなくても良いのだ…」「心のもちようが大切」「手抜きしても良いこと等で気持ちが楽になった」「今後の介護の参考になった」等の感想が多く寄せられました。これまで介護は、辛いもの大変なものと思い、また精神的にイライラされておられた方も、これを機に少しは肩の重荷をおろしていただけたのではないかと考えています。

(新潟県女性財団企画運営委員 池崎幸子)

共催募集

新潟県女性財団では、平成22年度も市町村と共催の地域セミナーのほかに、住民グループとの直接共催による地域セミナーを実施します。「地域を良くしたい」「こんなセミナーをやってみたい」など、心にあたためている企画はありませんか？新潟県女性財団と協働で、地域セミナーを企画立案・運営するグループを募集します。地域・内容等を考慮の上、2グループに限定し、よりよいセミナーの実施をめざします。共催を希望するグループは、4月9日(金)までに所定の共催希望書に必要事項を記入の上、当財団までご提出ください。共催希望書を受付後、直接会ってお話をお聞きし、選考の上決定します。詳細については、財団事務局までお問合せください。

働く女性のセミナー

「働く女性のメンタルヘルス」を開催します。働きながら心の健康を保つために一人ひとりができることについて考えてみませんか。このセミナーでは、職場のメンタルヘルスの正しい理解とセルフケアについてのポイントを解説します。参加を希望される方は、事前にお申込みください。

【日時】3月20日(土) 10:30~12:00 【会場】新潟県女性センター 女性団体交流室2

【講師】村松公美子さん(新潟青陵大学大学院臨床心理学研究科教授)

【対象】働く女性・働きたい女性【定員】30人【参加費】無料 【保育有】要予約

編集・発行／財団法人 新潟県女性財団

〒950-0994 新潟市中央区上所2-2-2 新潟ユニソンプラザ2階／新潟県女性センター

TEL 025-285-6610 FAX 025-285-6630

E-mail npwf@npwf.jp

ホームページ <http://www.npwf.jp>